

ワクワク通信 11月号 2023

お客様とイバセキを結ぶホットライン

発行元：茨石商事株式会社
TEL:0299-24-2680
http://www.ibaseki.com



多くの方のご来場
ありがとうございました！

茨石2023 大感謝祭



子供たちも笑顔！



屋内外とも大盛況！



キッチンカー前に
長蛇の列が・・・！



水素ロケット実験



ここも長蛇の列・・・
受付大忙し！



オリジナル茶葉
ブレンド体験



当日暑かったので
アイスが盛況でした！



メーカー対抗
調理 / 試食対決

「感謝の秋日」

コロナも5類になってから、それまでの鬱憤を晴らすかのように、各地で色々な行事やイベントが再開され、インバウンドの増加も相まって活気が戻ってきたように思います。

当社も10月14日(土)10時～16時4年振りにお客様に御礼の意味を込めて「茨石2023大感謝祭」を開催させて頂き、皆様と久しぶりに対面で触れ合う企画を創らせて頂きました。

今回は若いスタッフに運営を任せ、どうしたらお客様に喜んで頂けるかを実践で考えさせる場でも有りましたので、日常業務の合間を使って打合せ会議を重ね、多くのお客様に来ていただく為の知恵を絞って貰いました。

【社内内】

- ①メーカー3社のクッキングスタッフによる料理共演(皆様に試食を楽しんで頂きました)
- ②Ms Tearoomではオリジナルブレンドティの体験コーナー(10名×3回予約制)。
- ③健康コーナーでは足裏矯正のインソールとマッサージ器、アルカリ整水器の実演。
- ④ゼンタングルと言う絵画教室。⑤H2(水素)ロケット飛ばし実演等々。

【屋外】

- ①ガス機器メーカー3社の商品展示即売や住設メーカーによるキッチン、システムバスの展示。
- ②飲食コーナーではキッチンカーのカレー、鹿吉のやきいもと大学芋+アイスデザート。ロッシュの豚汁とフリードリンクコーナー。
- ③子供たちのキッズスペースではフワフワジャンプ、水ヨーヨー釣り。ガスボンベ利用の輪投げコーナー等。(子供達もお菓子やお面の景品に大喜び)
- ④スタンプラリーで来場記念品のポーニャのパンとガスマッチなどなど。

天候にも恵まれ、当初予想した人数を上回る250組400人のお客様にご来場頂きました。

懐かしい方々とも沢山お会いできて、晴れ渡った秋空の下楽しい時間を過ごさせて頂きありがとうございました。スタッフ一同心を込めて御礼申し上げます。



代表取締役 社長
鈴木 正人

「テラス」で子供と星を見る

その思い、リフォームで叶えよう。

居室3部屋にまたがるベランダ



日中は風通し良く！ 夜は満天の星！



担当の石上です。

旧八郷地区にお住いの1様ご夫婦は、小さなお子様と3人暮らし。

色々なことに興味深々の子供は、夜空の星も大好きで、よく天体望遠鏡も眺めるそうです。

八郷地区、とりわけ1様宅周辺は街の灯りに遮られることなく、満天の星を望める環境です。

ご夫婦は思いました。「自宅で寝ころびながら、家族3人で星を眺めたい」

そんなご夫婦の思いを叶えるべく、行ったリフォームです。

思い + 実益

思いを叶えるために、2階ベランダの大改装。

2階の居室と一体となる大きなサンルームを作りました。

密閉空間にすれば、夏の虫も、冬の寒さも気にせず、星を眺められます。

普段は、サンルームの窓とベランダへ抜ける引き戸を開放すれば、風通しも最高です。

2階の居住空間を広げ、使い勝手もよく、家族の思いも叶う。

難工事でしたが、「思い + 実益」の両方が叶う仕事ができたと自負しています。



家族の思いを乗せた
リフォーム案件、お待ちし
ています！
何気ない話でも是非お聞か
せください！



☎ 0120-41-2680



紙上展示会

お得に開催中！お気軽にお問合せ下さい！

今年も紙上展示会の時期がやってきました！
昨年好評を頂いたリフォーム特集と、
お買い得なガス器具をお見逃しなく！

イベントで気になったあの商品も
冊子を開けば見つかりますよ！

カメラを起動して
スマホでチェック

WEB カタログはコチラから



ふるさと紀行

石岡市『金刀比羅神社』

石岡の金刀比羅（ことひら）神社は「森の神様」としての歴史、「平氏ゆかりの神社」としての伝統、「こんぴら信仰」に由来する『石岡のこんぴらさん』として親しまれてきた。常陸国成立以前の太古には、『常陸国風土記』によると、新治・筑波・茨城・那賀・久慈・多珂の6国に分立していたとされる。石岡の地は「茨城国」といい、霞ヶ浦水運の要衝地で、当時の大和国から見て東の海を隔てた東国の開拓の中心地として最も早くから開けたところで、起源は今から約二千年前にまでさかのぼるものとされる。

神社の古称である「森」「森木」「守木」は神社・神木・神垣の意味で、古代神木祭祀の時代からの由緒ある神域であったことを伝えている。

平安時代には、桓武天皇の曾孫平高望王から常陸大掾という官職を得て国府に着任して以来、平氏ゆかりの神社として、森の祭祀が継承されるようになり、歴代の平氏の子女が祭主として神役に勤任していたと伝えられている。森は「大森大明神」と尊称され、森木殿があり、神仏混淆であったその時代には森木寺や八大寺という寺院が付属していた。



金刀比羅神社社殿の様子

天正18年(1590)、戦乱と兵火の中に巻き込まれて、森は壊滅し、長年にわたり支配した常陸平氏も滅亡した。その後、平氏の後裔である別当八大院によって神社が復興された。江戸時代には、平村（現在の石岡市中心部）の鎮守として府中藩主松平家の信仰は殊のほか厚く、手厚い庇護と多大の崇敬を寄せられた。その頃には、「こんぴら信仰」の伝播拡大により『金毘羅大権現』として信仰されるようになり、金毘羅神は仏教の守護神で、薬師如来の守り神として仏教伝来とともに日本に流入した。文政十年に、あらためて讃岐国象頭山（香川県琴平山）の金毘羅大権現（金刀比羅宮）の御分霊を勧請し、「こんぴら信仰」のよりどころとなつて多くの人々の参詣を集めて今日に至る。

社殿は幾度となく火災に遭遇しており、現在の社殿は平成十九年に再建した。